**ワークショップ「みんなで何かを決める時～民主主義って何だろう～」**

使用書籍：『こどものとうひょう　おとなのせんきょ』

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　著者：　かこ　さとし

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　発行者：左田野　渉　　発行所：（株）復刻ドットコム

ねらい　　　　　　○民主主義の在り方について考え、社会参画（参加）への素地を養う。

　　　　　　　　　教科領域：「社会科」「特別活動」「総合的な学習の時間」

準備するもの　　　○ワークシート１（参加のはしごについての説明用紙　人数分（必要数）

　　　　　　　　　○感想用紙（「私の気持ちワークシート」）

所要時間　　　　　○１単位時間（例：小学校　４５分×１コマ）\*必要に応じて１～２単位時間

進め方

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教師の動き | 発問・指示など | 備考 |
| １．児童の身近な生活経験から“みんなで何かを決めたこと”を聞き、その時の様子について尋ねる。  | 「友だちや家族、部活などで何かを決めたことがありますか」「みんなで決めたほうがいいことってどんなこと？」 | 座席・コの字型＊導入は「部屋の四隅」の方式でアイスブレーキングを行う。＊互いの顔が見える配置＊絵本の読み聞かせを中央の広場で行う。＊必要があれば、拡大スクリーンなどで絵本を投影しながら行う。 |
| ２．『こどものとうひょう　おとなのせんきょ』を読み聞かせする。  | 「今日の勉強は“みんなで何かを決める時”について考えてもらいます。また、「民主主義」ってなんだろう、という事についても話し合いたいな、と思っています。」 | ・絵本の読み聞かせ・パワーポイントなどで、全員で共有できるとなお良い（無くても可能） |
| ３．感想用紙を配布。  | 「本の内容や大人に伝えたい事など、いくつか選んで「わたしの気持ち」ワークシートを書きましょう」 | ・各時間をしっかりと確保する。（各時間は実態に応じて） |
| ４．感想を共有させる。  | 「どの言葉を選んだのか、その理由まで発表しましょう。」隣同士で共有⇒全体で共有 | ・共有の時間を通して、児童らの実態に合った程度の民主主義について互いの考えを共有し、身近な問題への関心を高めるような、共有の時間とする。 |
| ５．既習の「参加のはしご」をふりかえる。＊参加のはしごの説明用紙を配布する。 | 「みなさんは、１学期に「参加のはしご」について学び、考えました。ワークシートに書いた事を、そのまま自分の胸にしまうのではなく、だれかに伝えたり話し合ってみると、いいですね。自分がどの段階で参加できるのか、考えてみましょう」 | ・参加のはしごを想起させ、集団（社会）への主体的な関りを促す。 |